

陸上で越冬するニホンイシガメ

小賀野大一

290-0151 千葉県市原市瀬又962-40 千葉県野生生物研究会

The Japanese pond turtle, *Mauremys japonica*, that overwinter on land.

By Daiichi Ogano

Chiba Prefectural Wildlife Research Society, 962-40, Semata, Ichihara, Chiba 290-0151, Japan.

2009年1月2日、房総丘陵の小河川において淡水ガメの越冬場所を調査していた際、増水時に浸食されたと思われる陸上の横穴奥で越冬するニホンイシガメ(以下イシガメ)を記録した(図1)。この河川では1994年1月4日の調査で7個体の陸上越冬するイシガメを確認したが、それ以降、陸上の穴で越冬する個体が確認されてきた。多くのイシガメは澱みや横穴など水中で越冬することが知られているが(小賀野,1996など)、中には陸上で越冬する個体がいるようである。最近では、2016年1月16日に北総の谷津田の奥にある傾斜地にできた横穴内でも集団で陸上越冬するイシガメを記録した(図2)。この地域のイシガメ個体群はその多くが穴の近くにある池の中で越冬するが、陸上越冬する個体が調査の始まった前年の冬から複数回確認されている。このように陸上を選択して越冬する個体にはどのような特徴があるのか、どのような条件下で陸上越冬をするのか、この習性はイシガメだけに見られるものでクサガメやアカミミガメにはないのか、この習性がアライグマによる被害を増大させているのかなど、いくつかの興味深い研究テーマを提供してくれる。



図1. 河川脇の陸上の横穴で越冬するニホンイシガメ(2009年1月2日に撮影)



図2. 谷津田奥の傾斜地にできた陸上の横穴で越冬するニホンイシガメ(2016年1月16日に撮影)

引用文献

小賀野大一. 1996. 河川におけるニホンイシガメの越冬状況. 日本生物教育会第51回全国大会(佐賀大会)講演要旨集.